

## 住宅資材利用技術普及推進員活動の状況について

平成12年3月31日  
林野庁 林産課

本年度（平成11年度）より開始した林野庁補助事業「住宅資材利用技術普及事業」によって育成された、木材、木造住宅の良さを広く普及する「住宅資材利用技術普及推進員」の活動状況等についてお知らせいたします。

### 1 住宅資材利用技術普及事業の概要

本事業は、消費者ニーズを的確に把握し、これを反映させた地域材利用の木造住宅の建設を促進する観点から、消費者等に対し木造住宅の良さを普及し得る、技術情報に精通した人材（住宅資材利用技術普及推進員（以下「推進員」という））の育成とその推進員による普及活動の促進を図るものです。（別紙2参照）

### 2 推進員の育成及び普及活動の概要

#### (1) 推進員の育成の概要

（財）日本住宅・木材技術センターが平成11年9月、10月の2回にわたり、都道府県の推薦者13人を対象として、普及活動の実施に必要な知見を修得するための研修会を開催しました。講師には、東京大学有馬教授、明治大学野口助教授等10名の木材、木造住宅関連の学識経験者、建築士等をお願いし、「エコマテリアルとしての木材」、「木材の特性と住宅工法」、「丈夫で長持ちする木造住宅のチェックポイント」等木材・木造住宅に関する幅広い内容の研修を実施しました。（別紙3参照）

#### (2) 推進員の普及活動の概要

育成研修を受講された推進員は、それぞれの地域において、一般消費者等を対象とした相談会、セミナー等を開催し、平成12年3月までに延べ約5千人の方々を対象として木の良さ、木造住宅の良さについて普及活動を行いました（別紙1参照）。

### 3 今後の活動について

平成12年度においても、各地域の推進員が相談会、セミナー等を開催するなど多様な活動が予定されており、今後さらなる活発な活動が期待されます。

#### 問い合わせ先

林野庁 林産課 住宅資材企画班  
〒100-8952 東京都千代田区霞ヶ関1-2-1  
TEL { (03) 3502-8111 (内線6154)  
{ (03) 3501-3841 (直通)  
FAX (03) 3591-6319  
担当：小澤 小林

## 別紙 1

## 住宅資材利用技術普及推進員活動の概要

都道府県	委 託 先	人数	11年度の普及活動内容
青森県	青森県木材需要拡大協議会 〔連絡先：青森県製材協同組合 連合会 017-734-1431〕	2名	「木と暮らしのふれあい展」における相談会の開催（相談件数63件）
栃木県	栃木県木材需要拡大協議会 〔連絡先：栃木県木材業協同 組合連合会 028-652-3687〕	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般消費者を対象とする「とちぎの木の家づくりセミナー」の開催（6回，参加者数428名）</li> <li>・「とちぎ住宅フェア」等の相談会（相談件数140件等）</li> </ul>
和歌山県	和歌山県で実施 〔連絡先：林業振興課 0734-341-2964〕	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紀州材流通促進協議会が設置するモデル住宅を活動拠点とした相談会の開催</li> <li>・県民文化祭等におけるパネルの説明 等 （合計参加者数500名）</li> </ul>
山口県	(社)山口県木材協会 〔連絡先：同協会 083-922-0157〕	1名	「'99やまぐち住宅フェア」，「農林水産まつり」等において，相談コーナーを設置（参加者数520人）

都道府県	委 託 先	人数	11年度の普及活動内容
徳島県	徳島県木の家づくり協会 〔連絡先：同協会〕 088-652-5436	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家づくり協会の案内所に相談窓口を開設</li> <li>・徳島市内のフォレストタウンや神戸市内のハウジング・デザイン・センター(HDC)神戸で相談会等を開催（参加者数約2,300人）</li> </ul>
愛媛県	県林材業振興会議 〔連絡先：愛媛県森林組合連合会〕 089-941-0164	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「明日の愛媛材を考えるシンポジウム」の開催（参加者数300名）</li> <li>・「愛媛県木材まつり」等における相談会の開催（相談件数200名）</li> <li>・情報提供窓口の開設（県森連，木材協会内）</li> </ul>
大分県	おおいたの家21協同組合 〔連絡先：大分県木材組合連合会〕 0975-533-8778	3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般消費者を対象とした情報提供窓口の開設（相談件数168件）</li> <li>・マイホーム講座の開催（3回，参加者数99人）</li> <li>・大工・工務店等を対象とした研修会の開催 等</li> </ul>
合 計	7 県	13名	

## 住宅資材利用技術普及事業

### 1. 趣 旨

木造住宅については、長持ちしない、耐震性が低い、デザイン性に劣るなどという認識があり、我が国におけるその建設シェアは低下傾向にあり、また、木材の供給量に占める地域材の比率も低下している。

このため、消費者ニーズを的確に把握し、これを反映させた地域材住宅の建設を促進する観点から、消費者等に対し木造住宅の良さを普及し得る、技術情報に精通した人材の育成及びその普及活動の促進を図る必要がある。

### 2. 事業内容

#### (1) 住宅資材利用技術普及推進員育成事業

木材等住宅資材利用に関する技術的な情報の収集、提供等を行う住宅資材利用技術普及推進員（以下「推進員」という。）を育成する。

#### (2) 住宅資材利用技術普及促進事業

推進員による消費者等に対する住宅資材利用に関する技術的な情報の普及啓発等の活動を促進する。

### 3. 事業実施主体

- (1) (財)日本住宅・木材技術センター
- (2) 都道府県，市町村

### 4. 事業実施期間

- 平成 1 1 年～平成 1 5 年（5 年間）
- （(2)については単年度当たり10都道府県実施，1 都道府県につき 3 年間継続）

### 5. 補助率

- (1) 定額
- (2) 1 / 2

### 6. 平成 1 2 年度予算額

（内訳）

- 1 2 , 6 0 0 千円（ 1 4 , 0 0 0 千円）
- (1) 5 , 4 0 0 千円（ 6 , 0 0 0 千円）
- (2) 7 , 2 0 0 千円（ 8 , 0 0 0 千円）

（林野庁 林政部 林産課）

## 住宅資材利用技術普及推進員育成カリキュラム

## 第 1 回 2 泊 3 日

時間 日	9;00 ~ 12;00		13;00 ~ 15;00	15;00 ~ 17;00
第 1 日 9/20 ( 月 )	11;00 開講式 自己紹介		住宅産業の展望と法 制度の改正 山田事務所 所長 山田 稔	エコマテリアルとし ての木材 東京大学院大学 教授 有馬孝禮
第 2 日 9/21 ( 火 )	建築構造材料としての木 材の特性と住宅工法 明治大学 助教授 野口弘行		木材の長所・短所使 い方 木の語り部の会 代表 影山弥太郎	幸せを生む住まいの 作り方 ホームースタディ 代表 富田辰雄
第 3 日 9/22 ( 水 )	木造住宅生産合理化と新 技術、E W ( 財 ) 日本住宅・木材 技術センター 主任研究員 飯島敏夫		木質環境の科学  木の何でも相談室 室長 岡野 健	

## 第 2 回 2 泊 3 日

時間 日	9;00 ~ 12;00		13;00 ~ 15;00	15;00 ~ 17;00
第 1 日 10/19 ( 火 )			実習 ( 1 人 1 5 分で発表 )	
第 2 日 10/20 ( 水 )	頑丈で長持ちする木造住 宅のチェックポイント M s 建築設計事務所 三澤康彦		住まいと人生・話し 方のポイント 木の語り部の会 代表 影山弥太郎	講師を囲んでの懇談 ・質疑応答 有馬、野口、三澤 影山
第 3 日 10 / 21 ( 木 )	10:00 公庫融 資、確 認申請 講師 三 澤 康 彦	11:00 ~ 13:00 住宅の性能保証 と瑕疵 住宅保証機構 広報部長 矢野孝昭	14:00 ~ 16:00 住宅コストと 木材価格 ( 株 ) 青木工務 店 代表取締役 青木宏之	閉 講 式





